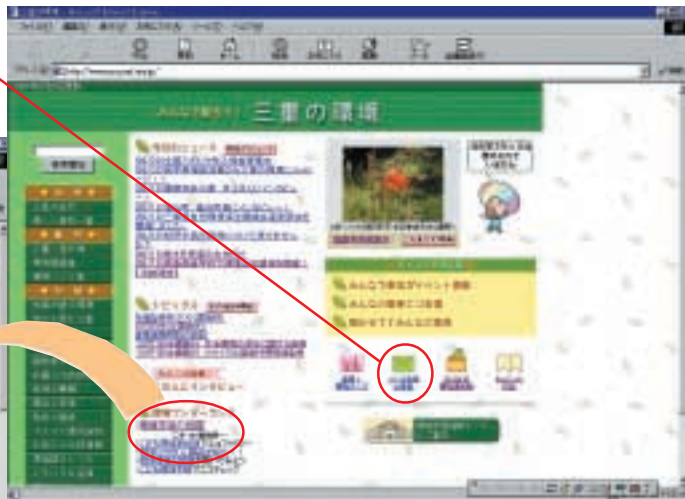
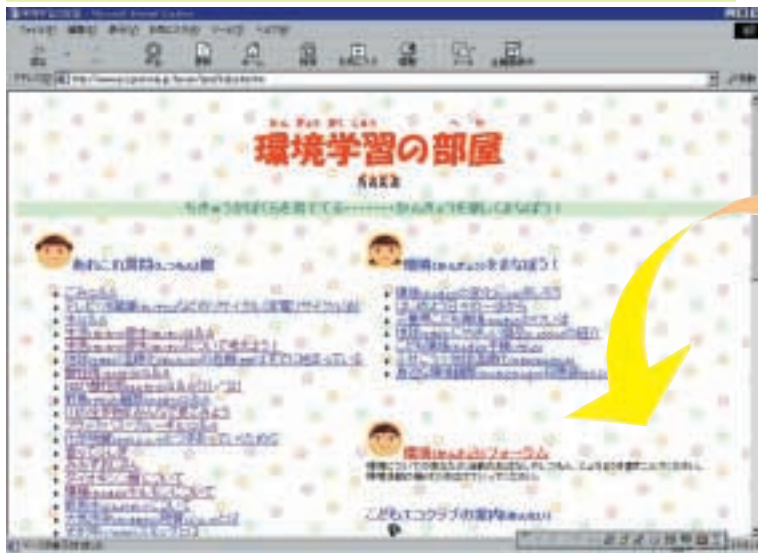


## 三重の環境 ～ホームページからわかる“環境学習”～

ごみ・水・酸性雨・自然・環境ホルモンなどの情報がいっぱい！  
インターネットで楽しく学ぶことができます。 ホームページ「三重の環境」<http://www.eco.pref.mie.jp/>

**「三重の環境」メールマガジン**  
詳しい三重の環境情報を発信中！  
あなたのメールアドレスをぜひ登録して情報をゲットしてみましょう！



「環境ワンダーランド」の「環境学習の部屋」には興味深く環境問題を学んだり、地球にやさしい生活の方法などを学ぶことができます。  
ほかにも、環境フォーラムで自分の意見を書き込んだり、ゲーム感覚で二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）の量を計れる「子ども環境家計簿」などがあります。



### 2001年10月から始まる三重県のリサイクルマークです

三重県は2001年10月からリサイクル製品の認定を、県リサイクル製品利用促進条例に基づき、リサイクル製品の普及を図ります。  
内容は、県が、県内で排出された廃材や紙などで作ったリサイクル製品を審査し、優先的に購入することを義務付けています。  
認定された商品には、認定マークが表示され、みなさん（消費者）が安心して購入できる目安にしてもらいます。

## 環境を考えた省エネ生活

### Q&A 第2回街のみどりと環境問題

**Q** 森林が少なくなったと聞きました。山を見ればたくさんの木が有るのに本当ですか？

**A** 日本は江戸時代から国の政策として植林をし、現在国土の66%が緑の森林国です。ところが、高度成長以来、

人手不足、人件費の高騰などで林業が実質的にたちかなくなりました。人工林は人手を入れないと貧弱になり、枯れたり台風で倒れたりして全滅してしまいます。

一方、途上国の人件費、物価は日本と比べて数十倍も安く、途上国の安い木材を輸入する森林破壊国になりました。木材輸入はゼロだった日本は、わずか40年で木材需要が数倍膨らみ、その約70%を輸入に頼るといって国になってしまいました。森林が消えると…

- ①『燃料・資源が失われる』大切な燃料の供給源であると同時に、紙や机、鉛筆、家など色々なモノに使われています。木は二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）を吸収し酸素（O<sub>2</sub>）を放出し、その結果、木の多くの成分炭素（C）で成長します。炭素は燃やすと二酸化炭素に戻り、木の製品は、吸収した炭素を蓄える大切な役割をしています。
- ②『「地球の肺」が失われる』特にアフリカ中央部、東南アジア、南米の3地域の熱帯林は、多量の二酸化炭素を吸収し、酸素として送り出す役割を果たしています。熱帯林が減少する一方で、産業活動によって出される二酸化炭素が急激に増

えたため、二酸化炭素が空中に大量に取り残されました。これが地球の温暖化に拍車をかけています。

- ③『洪水が起きやすくなる』森や熱帯林は、水バランスの調整に重要な役割を果たしています。木が少なくなると雨を地中にとどめておく力が低下し、洪水が起きやすくなります。
- ④『野生動物の住かを奪われる』森林に生活していた生物が住かを失います。その結果たくさんの動植物が地球上から姿を消し、特に熱帯林に生息する生物は地球上の生物の50～80%になるといわれ、生息域が狭められ絶滅する生物が出てくる恐れがあります。

森林は、成長量の数倍の速さで失われています。街の木々から工作物を作ることはありませんが、紙や鉛筆など色々なモノを永く大切に使いましょう。

（第3回寒さに負けない暖房省エネと地球の厚着）  
（第4回ゴミの後始末と省エネ活動）